

主な認知症の種類と特徴

アルツハイマー型認知症

一番多い認知症で、進行は緩やか。
記憶障害が著しく、特に最近のことを記憶
すること（短期記憶）が不得意になります。

【特徴的な症状の例】

- ・ 同じ質問を何度もする
- ・ 物事の段取り（食事の準備など）
が悪くなる
- ・ 日にちが分からなくなる
- ・ 約束を忘れる など

脳血管性認知症

脳梗塞、脳出血を起こした部分の脳細胞の
死滅・減少で起こります。

【特徴的な症状の例】

- ・ 意欲が低下する
- ・ もの忘れがある時と、しっかり
している時がある（まだら認知症）
- ・ 手足の麻痺がある など

レビー小体型認知症

初期のころはもの忘れより、うつ状態、失神、
ふるえといった症状が出たり、幻視（目の前
に無いはずの物が見える）が現れることがあ
ります。

【特徴的な症状の例】

- ・ 子どもや虫が見えると言う
- ・ 夢を見て反応し、大声を出す
- ・ もの忘れの症状は軽い など

前頭側頭型認知症

もの忘れの症状は軽く、意欲や理性、感情を
コントロールすることが難しくなります。万
引きや無銭飲食などで周囲を困惑させること
も少なくありません。

【特徴的な症状の例】

- ・ 同じ時間に同じ行動をとる
- ・ 同じものを大量に食べる
- ・ 周囲への配慮ができなくなる
- ・ 嗜好性の変化 など

※ 高齢者の認知症においては、複数の原因が重なって生じることもあります。

その他の原因：正常圧水頭症、脳腫瘍、頭部外傷、甲状腺機能低下、アルコールの長期多飲など

治すことが難しい

中核症状

- ・ もの忘れ
- ・ 時間、場所、人が認識できない
- ・ 状況判断が出来ない
- ・ 計算が出来ない

行動・心理症状(BPSD)

本人の性格、環境、人間関係等の要因が
からみあって引き起こされる症状。

治療や適切な対応によって症状の改善が
みられることがあります。

- ・ 無気力になる
- ・ 物を盗まれたと騒ぐ
- ・ 道に迷う
- ・ 怒りっぽい
- ・ なかなか寝付けない 等

改善することができる